

忙しい女性の意識・行動実態調査 2023年調査

報告書

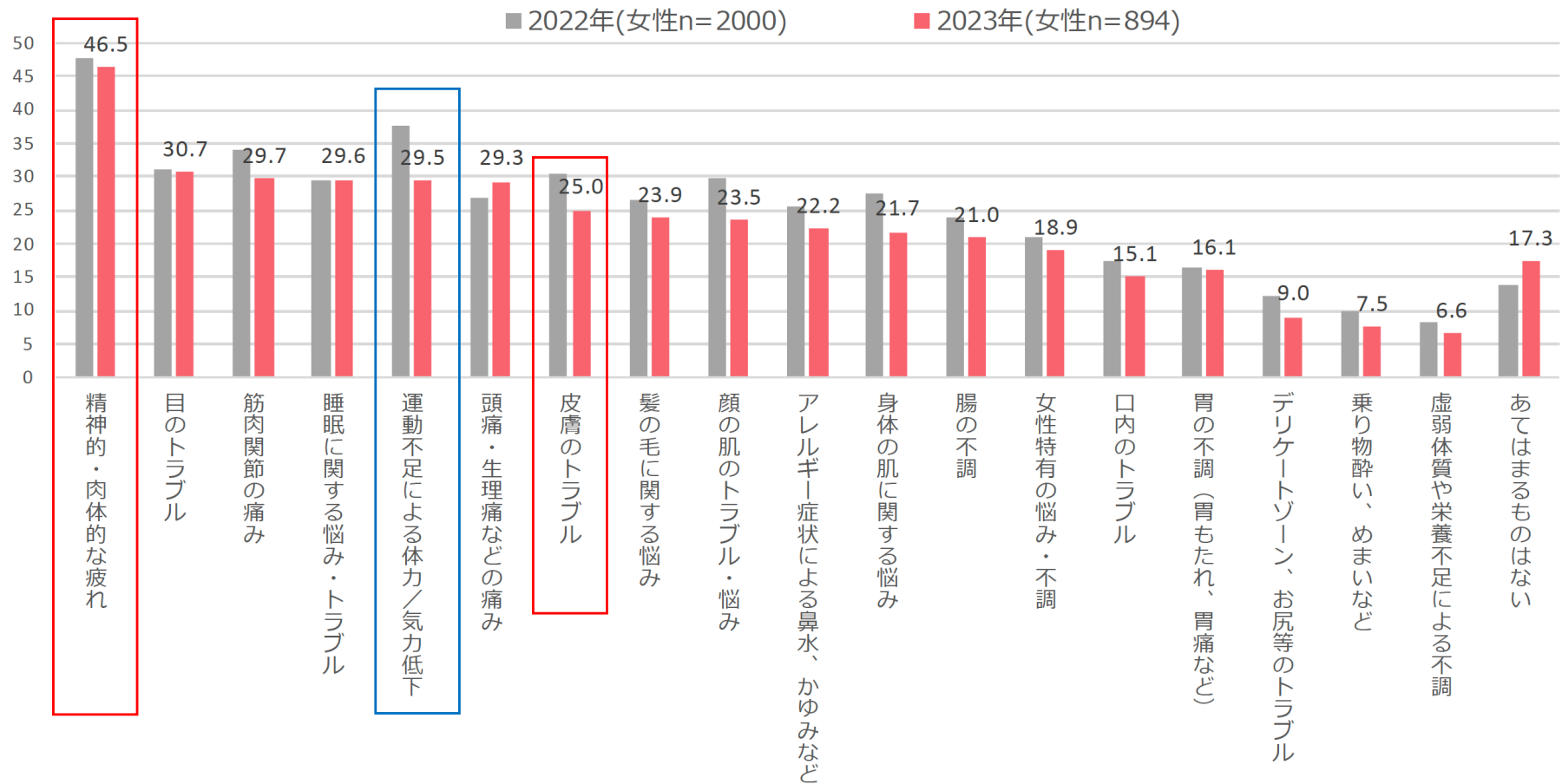


<p>調査手法</p>	<p>Web調査</p>																																																										
<p>調査エリア</p>	<p>全国</p>																																																										
<p>スクリーニング対象者条件</p>	<ul style="list-style-type: none"> 20～59歳の男女 除外業種：なし 	<p>本調査対象者条件 (過去と同条件)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 20～59歳の男女 除外業種：なし 有職者(パート含む) 現在忙しさを感じている方 																																																								
<p>サンプル数・割付構成</p>	<p>【前回調査（2022年4月実施）】</p> <ul style="list-style-type: none"> スクリーニングサンプル回収数：5855サンプル(女性5245、男性610) <small>令和2年国勢調査データより性年代別構成比（有職者分析時は有職者の性年代構成比）に合わせてウェイトバック集計</small> 本調査サンプル数：2000サンプル年代別均等割り付け（SCデータより本調査条件合致者の年代別構成比に合わせてウェイトバック集計） <table border="1" data-bbox="618 863 1272 1011"> <thead> <tr> <th>SC</th> <th>20-29歳</th> <th>30-39歳</th> <th>40-49歳</th> <th>50-59歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女性</td> <td colspan="4">5245（3165）カッコ内は有職者数</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td colspan="4">610（510）カッコ内は有職者数</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1417 871 2072 967"> <thead> <tr> <th>本調査</th> <th>20-29歳</th> <th>30-39歳</th> <th>40-49歳</th> <th>50-59歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女性</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>500</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今回調査（2023年4月実施）】</p> <ul style="list-style-type: none"> スクリーニングサンプル回収数：5309サンプル(女性3024、男性2285) <small>令和2年国勢調査データより性年代別構成比（有職者分析時は有職者の性年代構成比）に合わせてウェイトバック集計</small> 本調査サンプル数：2000サンプル年代別均等割り付け（SCデータより本調査条件合致者の年代別構成比に合わせてウェイトバック集計） <table border="1" data-bbox="618 1217 1272 1366"> <thead> <tr> <th>SC</th> <th>20-29歳</th> <th>30-39歳</th> <th>40-49歳</th> <th>50-59歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女性</td> <td colspan="4">3024（1887）カッコ内は有職者数</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td colspan="4">2285（1888）カッコ内は有職者数</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1417 1222 2072 1370"> <thead> <tr> <th>本調査</th> <th>20-29歳</th> <th>30-39歳</th> <th>40-49歳</th> <th>50-59歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>女性</td> <td>250</td> <td>250</td> <td>250</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>250</td> <td>250</td> <td>250</td> <td>250</td> </tr> </tbody> </table>				SC	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	女性	5245（3165）カッコ内は有職者数				男性	610（510）カッコ内は有職者数				本調査	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	女性	500	500	500	500	SC	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	女性	3024（1887）カッコ内は有職者数				男性	2285（1888）カッコ内は有職者数				本調査	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	女性	250	250	250	250	男性	250	250	250	250
SC	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳																																																							
女性	5245（3165）カッコ内は有職者数																																																										
男性	610（510）カッコ内は有職者数																																																										
本調査	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳																																																							
女性	500	500	500	500																																																							
SC	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳																																																							
女性	3024（1887）カッコ内は有職者数																																																										
男性	2285（1888）カッコ内は有職者数																																																										
本調査	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳																																																							
女性	250	250	250	250																																																							
男性	250	250	250	250																																																							
<p>調査期間</p>	<p>前回調査：2022年4月13日（水）～4月15日（金） 今回調査：2023年4月18日（火）～4月20日（木）</p>																																																										

昨年同様に「疲れ」が最多で47%と約半数の女性が感じている結果に。
 一方、昨年2位だった「運動不足」が巣ごもり解消の影響か減少し、5位に。

昨年同様、「精神的・肉体的な疲れ（イライラ、疲れが取れないなど）」が圧倒的に最多は変わらず。「皮膚トラブル（肌荒れ、ニキビ吹き出物、湿疹、皮膚炎、やけど、キズ、シミ、あせもなど）」は25%と4人に1人が悩んでいる事が分かりました。また、昨年2位だった「運動不足による体力／気力低下」が減少し5位となっており、コロナ収束に伴う外出機会の増加、巣ごもりの解消などがうかがえます。

【現在のからだの悩み】



顔・身体の肌トラブル対処法のTOP2は「睡眠・休養」「スキンケア品」

顔の肌／身体の肌／口内のトラブルの対処率はいずれも昨年に比べて増加。特に口内のトラブルは10ptと大幅に増加しました。不調の内容にかかわらず対処法として「睡眠・休養」が増加しており、睡眠の重要性が再認識されていると考えられます。また、「顔の肌」「口内トラブル」では、「サプリメント・ドリンク剤で対処」の回答も微増しており、悩みに対して、対処をしている人が増えている様子がうかがえます。

新型コロナウイルス感染拡大後により感じるようになった

約5pt以上の変化のスコア：赤・・・増加、青・・・減少

顔の肌／身体の肌／口内の悩み・不調への対処方法 (本調査 各からだ悩み特に気になる人ベース)

■ 顔の肌のトラブル・悩み

前回 (女性n=240) 今回 (女性n=62)

対処率 77.9% ⇒ 85.3%

1位	スキンケア品で対処 (化粧水、乳液、クリームなど)	44.3%	46.5%
2位	睡眠・休養をとる	28.7%	46.0%
3位	サプリメントやドリンク剤で対処	16.3%	17.2%
4位	医師の処方した外用薬 (塗る薬、貼る薬など) で対処	6.6%	12.4%
5位	市販の外用薬 (塗る薬、貼る薬など) で対処	7.0%	8.1%

■ 身体の肌に関する悩み

前回 (女性n=160) 今回 (女性n=59)

対処率 71.0% ⇒ 79.1%

1位	睡眠・休養をとる	26.1%	46.4%
2位	スキンケア品で対処 (化粧水、乳液、クリームなど)	29.3%	21.5%
3位	入浴	13.8%	16.6%
4位	サプリメントやドリンク剤で対処	15.1%	10.4%
5位	運動をする	8.6%	9.9%

■ 口内のトラブル

前回 (女性n=127) 今回 (女性n=42)

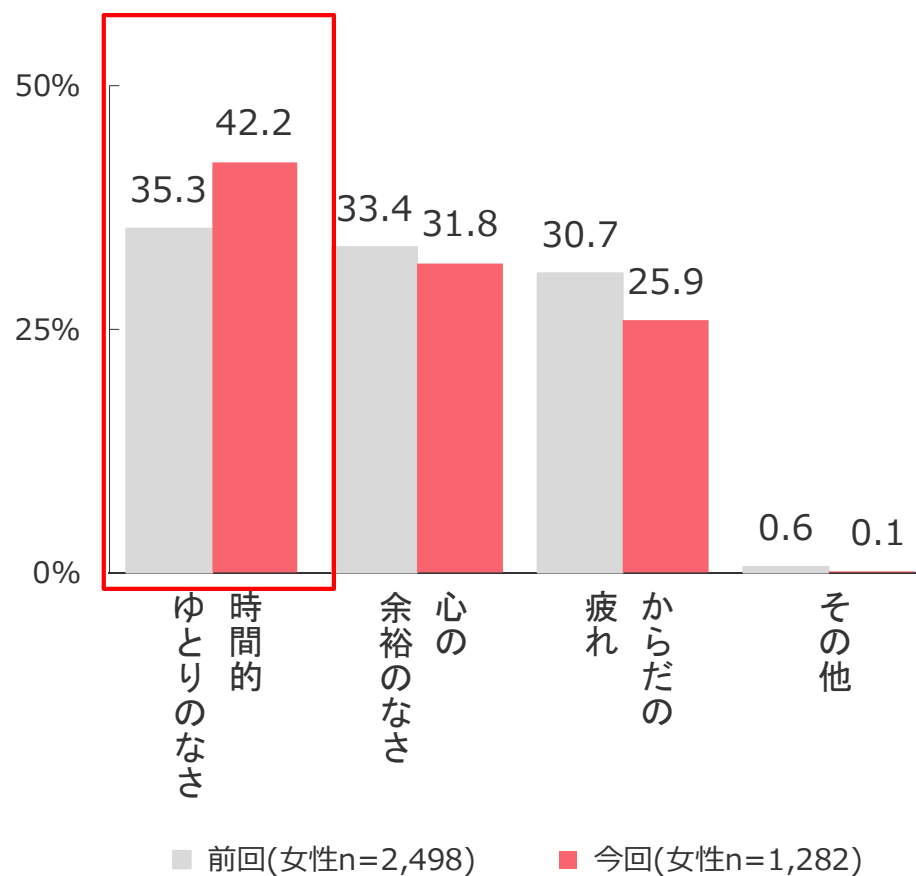
対処率 49.2% ⇒ 59.0%

1位	睡眠・休養をとる	15.1%	26.1%
2位	医師に相談する／医療機関への通院 (病院・整体など)	8.8%	15.5%
3位	サプリメントやドリンク剤で対処	6.3%	12.7%
4位	市販の外用薬 (塗る薬、貼る薬など) で対処	3.9%	6.6%
5位	食事の内容を変える	8.8%	5.1%

コロナ禍よりも忙しさの種類として「時間にゆとりがない人」が6.9pt増加し42%に。

「時間にゆとりがない人」が42%にのぼり、コロナ禍よりも増加しました。

今回の調査時期は、アフターコロナに向けた企業活動、コミュニケーション活動が活発化していた時期と重なり、メンタルやフィジカルな面よりも物理的な時間のなさが「忙しい」に直結したと想定でき、原因は仕事・業務量の増加、人手不足、家事量の増加等の可能性があると考えられます。



TOP2は男女とも「引き続きマスクをしたい」

マスクなし生活に向けて気になることは、男女ともに「人に会う時は引き続きマスクをしたい」「外出する時は引き続きマスクをしたい」がTOP2となりました。女性は男性に比べて平均回答個数が1.3個多く、特に「毛穴、しわ・ほうれい線、表情、スキンケア」など、マスクを外した時の外見に関する要素が高くなっています。

マスクなし生活に向けて気になること (本調査ベース)

